

国際理解教育/開発教育 学習指導（活動）案

【実践者】

授業者氏名	近藤 勝士	学校名	愛知県 津島市立 東小学校
教科（科目）・領域	図画工作	対象学年（人数）	5年1・2・3組（93名）
実践年月日もしくは期間（時数）	2021年 9月 ～ 10月 （8時間）		

【単元構成】

単元名 「世界の課題はジブンゴト」～1人1人が地球を救う勇者へ～（全50時間）	
前期 4月～10月	小単元①（6時間） 「消してかく」～SDGsのロゴマークをかいてみよう～ 小単元②（10時間） 「糸のこすいすい」～間伐材に想いをはせて～ 小単元③（8時間）【本単元】 「世界とつながろう」～国際交流・国際協力・多文化共生について考えてみよう～
後期 10月～3月	小単元④（8時間） 「ミラクル！ミラーステージ」～自分の夢を表そう～ 小単元⑤（6時間） 「読書感想画」～サステナブルな世界～ 小単元⑥（4時間） 「立ち上がれ！ワイヤーアート」～幸せって何だろう？～ 小単元⑦（8時間） 「彫り進めて刷り重ねて」～未来の世界～

【実施概要】

1. 小単元名（活動名）：「世界とつながろう」～国際交流・国際協力・多文化共生について考えてみよう～					
2. 実践する教科・領域： 図画工作		3. 学習領域			
			1	2	3
		A多文化社会	文化理解	文化交流	多文化共生
		Bグローバル社会	相互依存	情報化	
		C地球的課題	人権	環境	平和
		D未来への選択	歴史認識	市民意識	社会参加
4. 小単元の目標（評価規準を意識して設定）： 国際交流・国際協力・多文化共生について感じ取ったおもいが伝わるように、形や色などの表し方を工夫して絵に表すことができる。					
5. 小単元の評価規準	①知識及び技能	【知識】 国際交流・国際協力・多文化共生について想像したことを表すときの感覚や行為を通して、動き、奥行き、バランス、色の鮮やかさなどを理解している。 【技能】 表したいことに合わせて、水彩絵の具やパステルなどについての経験や技能を工夫して活用している。			
	②思考力、判断力、表現力等	【表現】 国際交流・国際協力・多文化共生について想像したことから、表したいことを見つけ、自分らしい形や色でどのように主題を表すか考えている。 【鑑賞】 自分たちの作品のよさやイメージの広がりを感じ取り、自分の見方や感じ方を深めている。			
	③学びに向かう力	国際交流・国際協力・多文化共生などについて、見たこと、感じたこと、想像したことなどを絵に表す活動からつくりだす喜びを味わっている。			

6. 小単元設定の理由・単元の意義 (児童/生徒観, 教材観, 指導観)	【単元設定の理由あるいは単元の意義】		
	「我々は、地球を救う機会を持つ最後の世代になるかもしれない」これは、SDGs が合意された、2015年9月の国連サミットで発信されたメッセージである。地球に住む私たちが行動を起こしていかななくては、地球の存続が危ぶまれている現在において、身近なこと、世界のことに限らず、様々なことを知り、気づき、考え、行動へとつなげていくことが大切である。学習指導要領の中でも、豊かな創造性を備え、持続可能な社会の創り手となる子どもたちを育てていく必要性が示されている。そのためには、学校教育全体並びに各教科、道徳科、総合的な学習の時間及び特別活動等の指導、つまり教科横断的に教育活動の充実を図っていかななくてはならない。 図画工作は、開発教育・国際理解教育との結びつきや関連が見出しにくい教科の1つであると考えられる。しかし、図画工作の目標には、自分の感覚や行為を通して理解するとともに、材料や用具を使い、表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりすることができるようにするとある。普段は言葉で表現することが多い中、言葉以外の方法で表現する経験が豊かな創造性を育み、持続可能な社会の創り手の育成につながると考える。また、こうした実践が汎用性のある授業へとつながるとも考える。		
	【児童／生徒観】		
	本校では3年前より、いろいろな場面で開発教育・国際理解教育について触れる機会が増えてきた。そのため、児童のSDGsの認知率はほぼ100%である。特に、現5年生児童は、昨年度より総合的な学習の時間だけでなく、教科横断的に開発教育・国際理解教育に取り組んできている。そのため、SDGsや世界のことをよく知り、興味関心のある児童も多い。しかし、日本以外の世界で起きていること自分の住んでいる日本とは関係なく、どこかタニングトとして捉えている児童も多いのが現状である。そのため、今年度は、世界で起きていることをジブンゴト化するためのきっかけづくりをいろいろな教科で実践している。		
	【教材観】		
5年生「言葉から思いを広げて」という単元では、詩や物語などを読んで、感じたことや思い浮かべたことを表現するという活動を行う。しかし、今回は、国際交流・国際協力・多文化共生について感じ取ったおもいを表現するという活動とすることで、世界の現状や課題やその解決のための行動や他国の文化などを知るという活動とつなげることにした。感じたおもいを言葉ではなく、形や色で表現する経験を通して、豊かな創造性を育むことにもつながると考える。活動を通して、子どもたちそれぞれの正解のない自由な発想を大切にしていきたい。			
【指導観】			
私たちの住む日本に関係のなさそうな世界の問題を聞くと正直、タニングトにも思えてしまう現代。今現在の地球がみんなにとって平等で生きやすい環境だと思うか？平和だと思うか？などを問いかけながら、私たちの住むこの地球をよりよくしていくためには、世界で起きていることをジブンゴトだと思う人が1人ずつ増えていくことが大切であり、1人の100歩よりも100人の1歩が大切だということに気づかせていきたい。 また、図画工作の目標でもある、つくりだす喜びを味わうとともに、感性を育み、楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養っていきたい。			
7. 小単元計画（全8時間）			
時	ねらい	学習活動	資料など
1 2 本時	世界の課題をジブンゴトとして捉え、今まで経験した国際交流、国際協力、多文化共生をもとに表したいことを見つけ、イメージをもつ。	・SDGsについて改めて知る。 ・今まで経験した国際交流、国際協力、多文化共生について想起する。 ・国際交流、国際協力、多文化共生というキーワードから思いつくことをブレインストーミングで広げる。 ・「世界とつながろう」絵画募集について知り、制作したいイメージをもつ。 ・感じたことや思い浮かべたことのスケッチを小さな紙に描き、イメージを膨らませる。	
3	動き、奥行き、バランス、色の鮮やかさなどを理解し、国際交流・国際協力・多文化共生について想像したことから、自分らしい形や色で	・前回スケッチした絵をもとに、水彩、色鉛筆、貼り絵などの表現方法や動き、奥行き、バランス、色の鮮やかさなどを確認し、自分の表現方法を考える。	

	どのように表すか考える。	・描いたスケッチや表現方法を全体で共有して、さらに発想を広げる。	
4 5 6 7	自分の表したいことに合わせて、水彩絵の具やパステルなどについての経験や技能を工夫しながら制作する。	・中心になるものを決め、画面の配置やバランスを考え描いていく。 ・水彩絵の具やパステルなどの表現方法に工夫を加えながら描いていく。	
8	自分たちの作品のよさやイメージの広がりを感じ取り、自分の見方や感じ方を深める。	・お互いの作品を紹介し合い、文章をかいたり、話し合ったりする。	

8. 本時の展開（概略）

本時のねらい：世界の課題をジブンゴトとして捉え、今まで経験した国際交流、国際協力、多文化共生をもとに表したいことを見つけ、イメージをもつ。

過程・時間	教師の働きかけ・発問および学習活動	指導上の留意点（支援）	資料（教材）
導入 10分	1. SDG s について改めて知る。 (1) 地球の現在・未来を想像する。(3分) 「今現在の地球はみんなにとって平等で生きやすい環境だと思いますか?」「平和だと思いますか?」「来年この地球は、もっと良くなっていると思いますか?」「9 年後はどうですか?」「そのとき君たちは何歳になっていますか?」 ・よい取組をしている人が世界中にいるからよくなっていく ・よくなっていくようには思えない ・平和ではない ・コロナウイルスが広がっているから心配 ・SDG s 達成の年だ ・自分たちは20歳になっている (2) 地球をよりよくしていくためにどうしたらよいかを考える。(4分) 「よい現在もあり、よい未来も想像できますが、テレビやインターネットでみる世界の様々なニュースや出来事を見ると、正直そうでない未来を想像してしまいますね。」「私たちの住むこの『地球をよりよくしていくためには、どうしたらいいと思いますか?」 ・食べ残しやゴミを簡単に出さないようにする ・差別やいじめがなくなるようにしていく ・募金をする ・いろいろなことに興味をもつ ・みんなで協力していく ・実際に外国へ行ってボランティアしたい	・発問であるが、1つ1つ答えを待たずに子どもたちに問いかけるように投げかける。 ・SDG s 達成の年を意識させる投げかけをする。 ・子どもたちの気づきを引き出すような対話形式を心がける。 ・子どもたちから自然に出る意見を拾いながら、『世界で起きていることをジブンゴトとしてとらえる人が増えること』『1人の100歩よりも100人の1歩が大切』であることに気づかせる。	・自作パワーポイント   

展開 50分	(3) SDGs がどんなものだったかを確認する。 (3分) 「SDGs は、「我々の世界を変革する」をテーマ、「誰ひとり置き去りにしない」を理念にし、2015 年 9 月に行われた国連サミットで提案され、国連に加盟する世界 193 カ国のすべての国々が合意し、2030 年までの 15 年間で達成しましょうと決められました。」 2. 今まで経験した国際交流・国際協力・多文化共生について想起する。(10分) 「今まで、見たり聞いたり経験したりした国際交流・国際協力・多文化共生はどんなことがありましたか？」 ・トンガの授業 (JICA 中部出前講座)【国際交流】 ・JICA 海外協力隊の人たちの活動【国際協力】 ・外国人の転校生が来たとき【多文化共生】 など 3. 国際交流・国際協力・多文化共生に関わる映像資料を見る。(15分) 「国際交流・国際協力・多文化共生は相互につながっていますね。」 4. 国際交流・国際協力・多文化共生というキーワードから思いつくことを派生図で広げる。 (15分) 「国際交流・国際協力・多文化共生と聞いてイメージすることを関連があるもの同士は線でつなぎながら、グループで模造紙にペンで書き出していきます。」 ・JICA の活動 ・募金 ・ララ先生(ALT)の授業 ・トンガのヌシ選手 ・外国からの転校生 ・ボランティア ・JICA 海外協力隊 ・ゴミを減らす ・4R ・SDGs ・オリンピック ・パラリンピック ・宗教 ・みんな仲よくする ・差別やいじめなし	・3つを同時に想起させるのではなく、1つ1つ(国際交流・国際協力・多文化共生)問いかけていく。(※時間は短く区切る) ・意見が出なければ、経験したことのあつことをこちらから話題にあげていく。 ・参加型学習のルール(協力・尊重・信頼)を確認し、意見を出しやすい雰囲気をつくる。(※グループは4、5人)(※ペンはプロッキーなどを用意) 【コロナ対策】 ・ブレンストーミングとし、付箋に書かせて、貼る形で実施する。	 SDGs (Sustainable Development Goals) サステイナブル デVELOPMENT ゴールズ 「持続可能な開発目標」 2015年9月 国連サミット エス・ディー・エス 17の目標 SDGs 193カ国合意 15年間で達成 2016年 → 2030年  国際交流 国際協力 多文化共生 ・JICA 映像資料 「イスラム」「国際協力・SDGs」(計15分) ちよつとやってみよう! 国際交流・国際協力・多文化共生 と聞いて、思い浮かぶこと ☆派生図☆ こんな感じ! ☆派生図☆  ちよつとやってみよう! 国際交流・国際協力・多文化共生 と聞いて、思い浮かぶこと ☆ブレンストーミング☆ こんな感じ! ☆ブレンストーミング☆ 
-------------------	---	--	--

まとめ 30分	5. 作成した派生図を全体共有する。(5分) 「教室を動き回って、自分のグループで出なかった意見を見つけてきてください。」 6. 「世界とつながろう」絵画募集について知り、制作したいイメージをもつ。(5分) 「この絵画募集に応募することが、SDG s 達成のための社会参加になりますね。」 7. 感じたことや思い浮かべたことのスケッチを小さな紙に描いていく。 (1) 抽象画と具象画の違いを知る。(5分) 「表現方法は自由ですので、自分の挑戦してみたい方法で描いてみてください。」 (2) 感じたことや思い浮かべたことのスケッチを小さな紙に描いていく。(25分) 「これまでの経験や今日の授業から感じたことや思い浮かべたことのスケッチを小さな紙に描き、イメージを膨らませ、描いてみよう。」	・自分のグループに戻ったときに新たな意見を書き加えてよいことを伝える。 【コロナ対策】 ・黒板に貼り、休み時間に見てもらったり、教師側で読み上げたりして、共有とする。 ・子どもたちそれぞれの正解のない自由な発想を大切にしていこうにする。 ・十分な数の画用紙を用意し、何枚でも描くことができるようにしておく。 ・次の時間から具体的な創作活動にうつることを伝える。	抽象画 他にも 具象画
9. 評価規準に基づく本時の評価（評価方法） 国際交流・国際協力・多文化共生について見たこと、感じたこと、想像したことなどから、表したいことを見つけ、絵に表す活動からつくりだす喜びを味わっている。(派生図、スケッチ、活動の様子から)			
10. 学習方法および外部との連携 【学習方法】 ・図画工作という教科の特性をいかし、感じたおもしろさを言葉ではなく、形や色で表現する経験を通して、豊かな創造性を育てていく。また、子どもたちそれぞれの正解のない自由な発想を大切にしていこう。 ・総合的な学習の時間など他教科との連携を図っていく。 【外部との連携】 ・JICA 出前講座を通して、国際交流・国際協力・異文化共生に関わる話を聞いたり、体験をしたりする。 ・JICA 中部訪問プログラムを活用して、社会見学を計画し、子どもたちの理解や気づきを深めることにつなげる。			

11. 学校内外で国際理解教育・授業実践を広める取り組み

【学校内】

- ・学年の枠を飛び越え、ニーズに応じて、お互いに自分のできる国際理解教育出前授業等を行っていく。
- ・SDG s 推進部会を立ち上げ、できる限り週 1 回程度の教員向けの研修や情報交換の場を設ける。
- ・学校全体で総合的な学習の時間を中心に実践を積み重ねる。
- ・日常の授業の中で、SDG s を切り口に子どもたちへ地球全体の課題に対しての意識をもたせていく。
- ・校内掲示による、世界で起きていることに対する課題や出来事への興味関心を高めていく。

【学校外】

- ・校内の実践をまとめ、学校外への実践報告を行う。
- ・地区内の教員同士の研修会を企画し、実施していく。
- ・校外（他校（校種問わず））からの出前授業の要請に応じていく。
- ・地区の教員学習会からの講師要請に応じていく。

【自己評価】

12. 苦労した点	本時の実践では、導入の 2 単位時間を使って、国際交流・国際協力・多文化共生について想起したり、知ったり、考えたりする活動を行ったことで、国際理解教育を意識させた活動としてスタートできた。しかし、制作活動に入ると、色や形や表現方法についての声掛けが主となるため、国際理解教育の面が薄くなっていく。そこで、「この場面は、〇〇をしている場面で、まさに国際交流であり、多文化共生に関わっているね。」などの声掛けをできる限り増やすように心がけた。また、制作時間には、個々の差が出てくるため、2 枚目、3 枚目の作品を制作させるようにした。
13. 改善点	本時の実践のような活動を導入で行えば、図画工作の授業としての制作活動の時間的余裕がなくなっていく。そのため、図画工作としての時間ではなく、総合的な学習の時間や他教科の授業の中で、こうした活動を行い、図画工作の時間では、制作活動、表現活動を行う形にしていきたい。そうしたことが、教科横断型のカリキュラムマネジメントにつながっていくと考えられる。
14. 成果が出た点	国際理解教育の実践を含め、普段は言葉で自分の思いや考えを表現することが多い中、絵で表現するという経験は貴重なものとなった。単元に終わりには、「こうして、みんなが絵を描いて、発信すること自体が国際交流・国際協力・多文化共生につながっているんだよ。」と投げかけることができた。図画工作における、言葉以外の方法で表現する経験が豊かな創造性を育み、持続可能な社会の創り手の育成につながる有効な手立てとなると考えられる。
15. 学びの軌跡 （児童生徒の反応、感想文、作文、ノートなど）	本実践の対象児童 5 年生は、教科横断的に開発教育・国際理解教育に取り組んできており、SDG s や世界のことをよく知り、興味関心のある児童も多いが、日本以外の世界で起きていること自分の住んでいる日本とは関係なく、どこかタニンゴトとして捉えている児童も多いのが現状であった。そこで、本単元の導入で今現在の地球がみんなにとって平等で生きやすい環境だと思うか？平和だと思うか？などを直接問いかけ、世界で起きていることをイメージさせた。子どもたちは、世界で起きていることもジブンゴトと捉える様子がうかがえた。そして、国際交流、国際協力、多文化共生というキーワードから自分たちの体験を想起したり、思いつくことをブレンストーミングで

広げたりすることで、それぞれに創作するための準備となった。児童の描いた作品や振り返りの感想を通して、世界で起きていることをジブンゴトだと思う児童が増えてきたことを感じた。

【児童の作品】



	【児童の感想】 ・ 国際交流・国際協力・多文化共生を絵で表すのは難しかったけど、描き始めたら楽しくできました。 ・ 地球の環境を大切にしていくことで国際協力をしたいです。 ・ みんなが笑顔で生きていける世界になってほしいです。 ・ 国際交流って、今まで経験したことの中にあっただと感じました。 ・ 戦争がなくなるように、世界の平和を願って絵に表しました。 ・ ワールドコラボフェスタのページに自分の絵がのるのが楽しみです。 ・ 自分も含めて、地球に住む人達みんなが幸せに感じて生きていけるようにしていきたいです。 ・ 世界にはそれぞれの料理があって、それぞれのいいところを合わせたらいいと思います。 ・ 世界とつながっているという感覚がもてました。
16. 授業者による自由記述	無関心こそ最大の暴力という言葉があるが、その通りだとつくづく思う。教育を受けている日本人として、無関心ではいけないと強く感じる。まずは知ることがスタートであり、知ること、気付く、考え、行動していきける。そのために開発教育・国際理解教育は非常に有効なものであると考える。開発教育・国際理解教育はまさに、気付くという意識の部分に投げかけることができる教育である。そんな教育と各教科をリンクさせていくことで、意識の部分に良い影響を与えていけると感じている。何のために学習するのか？自分のためであり、みんなのためであり、地球のみんなのためである。そんな思いをもたせていきたい。 そして、「私たちが地球を救う機会を持つ最後の世代になるかもしれない」という意識と「私たち1人1人が世界を救う勇者（ヒーロー）である」という自覚をもち、世界の出来事をタニンゴトではなく、ジブンゴトとしてとらえ、誰かのために行動していきける人を育てていきたい。そんな人たちが増えていけば、私たちの住む地球がこれからも持続可能となっていくのではないかと考える。 そのためにも、今後とも開発教育・国際理解教育の可能性を信じ、実践とともにそのよさを広めていきたい。

参考資料：

- ・ 「ファシリテーターのための参加型アクティビティ集『コミュニケーション編』」（2018）
特定非営利活動法人 NIED・国際理解教育センター
- ・ JICA 資料「国際理解教育実践資料集」
- ・ JICA 映像教材「授業で使えるショート映像集（アクティブラーニング教材）」
- ・ JICA 地球ひろば Web サイト「小学校の実践事例・学習指導案」
https://www.jica.go.jp/hiroba/teacher/case/primary_school.html
- ・ ワールドコラボフェスタ 2021 Web サイト <https://world-collabo.jp/>
- ・ 国連広報センター Web サイト
https://www.unic.or.jp/news_press/features_backgrounders/31737/
- ・ ハフライブ ハフポスト映像教材 「まずは知ることから始めてみませんか？」ホラン千秋が語る国際協力のメッセージ
- ・ 小学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説 図画工作編
- ・ SDGs とターゲット新訳 Ver.1.2（2021.3）（PDF） 「SDGs とターゲット新訳」制作委員会
https://xsdg.jp/pdf/SDGs169TARGETS_ver1.2.pdf
- ・ 「持続可能な開発レポート 2021」 ケンブリッジ大学出版局

〔2021. 9.10〕

『世界とつながろう』

～国際交流・国際協力・多文化共生
について考えて描いてみよう～

津島市立東小学校5年生 図画工作

世界は平等で生きやすい？

世界は平和？

来年この地球は良くなってる？

5年後はどうですか？

10年後はどうですか？



地球をよりよくしていくには・・・

世界で起きていることは、
ジブンゴト！

1人の100歩よりも、
100人の1歩！



SDGs
(SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS)

サステナブル ディベロップメント ゴールズ

「持続可能な開発目標」



持続可能な開発のための 2030 アジェンダ タイトル
我々の世界を変革する

持続可能な開発のための 2030 アジェンダ 理念
誰ひとり置き去りにしない

2015年9月
国連サミット

エス・ディー・ジー・ズ

17の目標

SDGs

193カ国合意

15年間で達成

2016年 ⇒ 2030年

SDGSには17の目標と169のターゲット



ゴール1
あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる

ターゲット1.1
2030年までに、現行1日1.90ドル未満で生活する人々と定義されている極度の貧困をあらゆる場所で終わらせる。

このターゲットを達成するために国連が提議している目標は、貧困削減、持続可能な開発、気候変動、環境保護、平和と正義、そして人権の分野にわたるものである。このターゲットは、貧困削減、持続可能な開発、気候変動、環境保護、平和と正義、そして人権の分野にわたるものである。

ゴールに対して、それぞれ
ターゲットがある
(具体的な目標)

国際交流



国際協力



多文化共生



イスラム教ってなに？



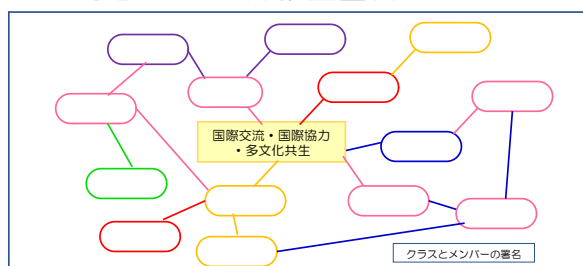
助け合いってなに？

ちょっとやってみましょう！

国際交流・国際協力・多文化共生
と聞いて、思い浮かぶこと

☆派生図☆

こんな感じ！ ☆派生図☆

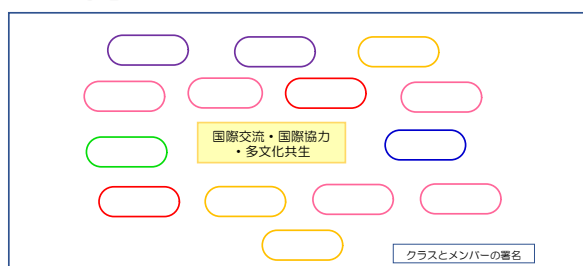


ちょっとやってみましょう！

国際交流・国際協力・多文化共生
と聞いて、思い浮かぶこと

☆ブレインストーミング☆

こんな感じ！ ☆ブレインストーミング☆



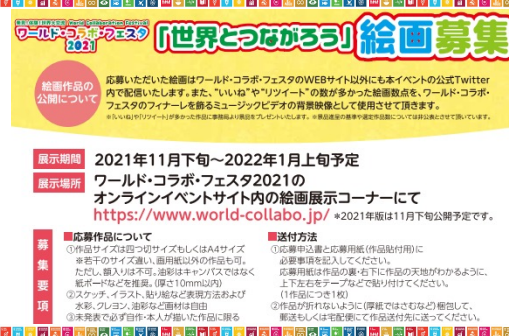
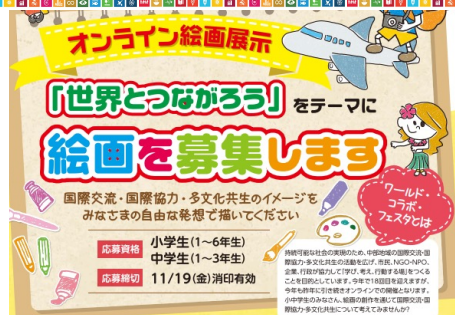
ちょっとやってみましょう！

国際交流・国際協力・多文化共生
と聞いて、思い浮かぶこと

☆ブレインストーミング☆

☆ギャラリー方式☆
動き回って意見共有！

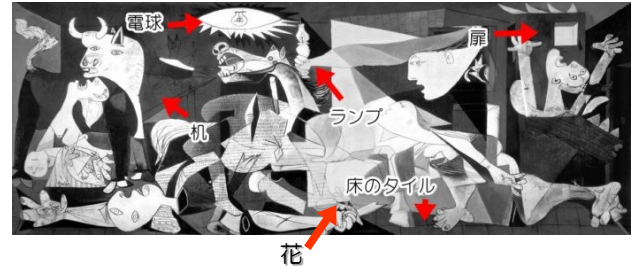
自分たちのグループには、
なかった意見を探してこよう！



難民ってどういうこと？

世界の課題ってなに？

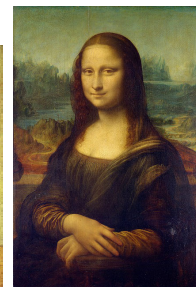
抽象画



他にも



具象画



どんな作品を描きますか？